

総会・講演会 平成 26 年 5 月 24 日(土)

場所：あいホール 講師：菅沼 敏之 氏

第 7 回総会が開かれ、今年度の予算、活動方針などが承認されました。続いて、昨年に引き続き菅沼先生の「算数」についての講演会が行われました。今回は、『小数』の考え方についてお話を頂きました。



助成金をいただきました

- (Ⅰ) 公益信託チヨタ遠越準一文化振興基金より30万円
この助成金で「浜松の日本語教育の現状を探る」を開催しました。
企画担当:大倉 川島 澤根 寺澤 永山 信田
- (Ⅱ) 浜松国際交流協会(HICE)より15万円
この助成金は、まつこの「子どもフィエスタ」に使われます。
企画担当:大岡 信田

(Ⅰ) 浜松の日本語教育の現状を探る — 新しい支援体制の可能性を求めて 2014 — 助成:公益信託チヨタ遠越準一文化振興基金

平成 26 年度より、文部科学省は日本語指導が必要な児童生徒に対し「特別の教育課程」を実施することになりました。そこでその経緯と概要を知り、さらに DLA の実施法を学ぶ講座を 4 回シリーズで開催しました。会員以外も含めて 50 名の参加がありました。

	日時・場所	講師	内容
第 1 回	6/14 (土) 10 時～12 時 あいホール	大阪大学大学院 連合小児発達学研究所 近田由紀子氏	「特別の教育課程」の経緯と概要
第 2 回	7/5 (土) 13 時～16 時 地域情報センター	大阪大学大学院 言語文化研究科 日本学術振興会特別研究員 櫻井千穂氏	DLA の概要と「話す」「読む」の実践例から、実施法と評価の仕方を学ぶ
第 3 回	8/9 (土) 10 時～12 時 あいホール	県立浜松大平台高校 講師 当 NPO 賛助会員 絹村和美氏	高校に通う外国人生徒の現状と日本語指導の在り方
第 4 回	9/6 (土) 10 時～12 時 あいホール	DLA 実践教員 浜松市教育委員会	DLA を実施した学校の実践例と浜松市の日本語指導に対するビジョン

- ～受講生感想～
- 「特別の教育課程」について知識不足を痛感しました。当講座でその概要について多少なり理解できるようになりました。頂いた資料を時間をかけて理解に努め、今後の実践に役立てたいと思います。(第 1 回 K.H)
 - 実際の指導の様子を動画で見ることができ、とてもわかりやすかったと思います。細かいところまで指導方法が決められていて、指導者にとってバラつきが少なくなるのが良い点だと思います。何より、子どもが楽しく学習できるのがすばらしいです。(第 2 回 S.T)
 - 定時制高校についての知識を知り、たくさんの事例や現場の声を聞いて勉強になりました。小学校の支援からは想像できない高校生活、学習について考える貴重な機会になりました。(第 3 回 N.A)
 - 中学校における DLA 実践例をお聞きして、具体的にどうやるか少しイメージできた気がします。市川先生のお話から浜松市全体の外国人児童生徒の状況と支援の様子をつかむことができました。個々の子どもに対して先生方に指導計画を作っていただき、能力が発揮できるように学校全体が認識して支援体制ができることを希望しています。(第 4 回 A.H)



(Ⅱ) みんなおいでよ！「子どもフィエスタ」開催 全4回



助成：(公財)浜松国際交流協会(HICE[ハイス])

第1回 『ボリビアの音楽コンサート』 — スペイン語教室 —

日時：平成26年8月2日(土)14:00～16:00 場所：あいホール

スペイン語教室の児童を中心に、約70名の児童、家族が集まりました。初めの1時間は工作タイムです。ペットボトルを使って小太鼓を、ストローを使ってサンポーニャという笛を作りました。次に、フェルナンド・トリコさんを中心としたケーナ、ギター、太鼓などのアンサンブルによるボリビア音楽のコンサートです。全部で6曲演奏していただきましたが、全員でダンスをしたり、工作タイムで作った小太鼓や笛とセッションしたり、とても楽しい時間を過ごしました。



第2回 『「つみきのそのさん」と遊ぼう!』 — ベトナム語教室 —

日時：平成26年10月11日(土)14:00～16:00 場所：三方原協働センター

ベトナム語教室の児童と家族が約40名集まりました。3000個以上の積み木を使ってタワーを組み立てたり、ドミノ倒しをしたりしました。きれいに倒れた時は大歓声！自分たちが入ることのできる大きな円筒ドームも作りました。



<今後の予定>

第3回 『サルサをおどろう』 — スペイン語教室 —

日時：平成26年12月20日(土) 10:00～11:30

会場：あいホール 202・203 会議室

第4回 『読み聞かせ』 — スペイン語教室 —

日時：平成27年3月7日(土) 10:00～11:30

会場：なゆた浜北

平成26年度「日本語・学習支援」と「初期適応・母国語支援」

浜松市委託事業

本年度も、浜松市内の小中学校に通う外国人児童生徒に対する支援を、以下の通り行っています。

日本語・学習支援	相手小
相生小 萩丘小 白脇小 浅間小 上島小 船越小 芳川小 飯田小 泉小	
派遣校 25 校	砂丘小 佐鳴台小 芳川北小 双葉小 南の星小 広沢小 県居小 曳馬小
児童生徒数 180 名	可美小 西部中 南部中 江南中 佐鳴台中 曳馬中 八幡中 高台中

平成26年7月31日現在

初期適応支援	母国語教室	会場	通級人数
	ポルトガル語	浜松市市民協働センターまたはクリエート浜松	173 名
	ベトナム語	三方原協働センター	44 名
	スペイン語	なゆた浜北	15 名

講演会「シルクロードで出会った子どもたち」

平成26年7月14日(月)

場所：あいホール 302・303 会議室

講師：池谷 豁 氏

全体ミーティング終了後、池谷先生にシルクロードの子どもたちのことを中心にお話していただきました。

ムスリムの人々は5つの戒律—信仰告白・喜捨(互助)・1日5回の礼拝・ラマダン(断食)・メッカへの巡礼—を忠実に守っており、そんな中でも子どもたちは、親の手伝いや遊びに生き生きとしているそうです。中でもシリアは、ローマ帝国、シルクロード、イスラムの歴史に関わっているととても特異な国ですが、宗教対立や複雑な国際関係の中で現在は内戦状態にあります。池谷先生はシリアの子どもたちが今も戦火に脅えていると思うといっても立ってはいられない気持ちでいらっしやるそうです。私たちも子どもたちの無事を祈らずにはいられません。(写真はシリアの子どもたち)



バザー提供品のお願い

平成26年12月15日(月) 全体ミーティング時 13:00～13:30

場所：全体ミーティング(あいホール)

目的：母国語教室学習発表会費用として

提供品条件：・賞味消費期限厳守 ・売り物になること ・希望価格(値札、シール等)をつけること

預り先：各教室リーダー／砂丘事務局／当日会場まで持参(12月15日12:00～12:30までに)



広報担当：川島、萩原、吉野